

# IAATOヒョウアザラシ ウォッチングガイドライン

- ヒョウアザラシを見るときは、取り囲んだり、追いかけたりしてはなりません。彼らが見える場所に留まってください。
- 海岸では、アザラシと海の間には入らないようにしてください。水上オートバイに乗っているときは、ヒョウアザラシと氷の間には入らないようにしてください。
- 海岸、氷上、水中のヒョウアザラシからの最低推奨距離は5～15メートルです。一部の行動によっては、さらに距離を保つ必要があります(以下をご確認ください)。
- ヒョウアザラシが近くにいる時は、声は小さくして、口笛を吹いたり叫んだりしないでください。
- ラジオの音量は下げてください。
- 動物を動揺させることを極力避けるため、ほかのボートや船と連絡を取ってください。
- 動物を驚かすような陸やボートの上での急な動きは避けてください。
- ヒョウアザラシが水上バイクの周りを泳いでいたら、ボートの外に手足を出さずに、ボートの底/中心へ移動してください。



## ヒョウアザラシの行動について理解する

陸、岩、または氷上に上がったヒョウアザラシはボートや人の気配に敏感です。音、匂い、視界に入るものに反応します。

ヒョウアザラシには、他の南極アザラシと比べて強い好奇心があります。また、好奇心による行動がすぐに攻撃的な行動に変わることがあります。観察するときには注意してください。

ヒョウアザラシが困惑していることを示す行動を把握しておきましょう。以下の行動をはじめとした様々な行動が挙げられます。

- 注意や警戒の高まり  
頭を回転させる
- 横たわっている状態から直立の姿勢に変わる
- 近づいてくる船舶から急いで離れる 口を開いて威嚇する
- 攻撃的に威嚇する、またはあなたの方へ突進してくる
- ゾディアックポンツーンを噛む(ゾディアックは、船で使用していない時は水中から引き上げておく必要があります。これができない場合は、コーン(またはバケツ)をポンツーンの先端に配置しなければなりません)



## アザラシを見るとき

- 水からあがったアザラシの視界を遮ったり、上からのぞき込もうとしないでください。体勢を低くしてください。
- 非常に短い授乳期間の妨げとなることを避けるため、ヒョウアザラシの母親と子供からは余分に距離を取る(少なくとも25メートル)必要があります。
- 顔をあげることを除いて、アザラシが何らかの反応をした場合は避けてください。
- 氷上または海岸で口を開けて威嚇する動作は、ストレスを感じたときの反応です。この場合はゆっくりとその場を離れてください。一匹が陸または氷盤の端から海に向かって来たら、ゆっくりと慎重に後ろに下がらなければなりません。
- たとえ十分な距離を取れるとしても、アザラシが乗っている氷盤と同じ氷盤に水上バイクを停めないでください。アザラシが防御的な反応をとる恐れがあります。
- 水から上がったヒョウアザラシに群がることを避けるため、水上バイクの数を検討する必要があります。
- ヒョウアザラシは、非常に機敏に動くことができ、近づきすぎると突進してくる可能性があります(水上バイクを噛む可能性もあります)。このため、少なくとも5~15メートルは距離をとってください。
- 人力水上バイクを使用しているときは、特に注意が必要です。



## 個体識別とデータ収集について

個体を識別すること、そして多くの場合これに伴って航海日誌に種について記録することは、乗船した自然主義者に与えられた権利の一つです。動物が発見された緯度、経度とともに、種の識別、音声の記録、および識別写真などの追加情報を記録した航海日誌は、非常に貴重な記録となります。

ヒョウアザラシに関する市民科学プロジェクトの情報は、IAATOウェブサイトまたは[iaato@iaato.org](mailto:iaato@iaato.org)にお問い合わせください。

